

# 機密書類溶解処理

高度な情報化社会となった今日、その恩恵を受ける一方で、情報の漏洩といった問題も深刻な社会問題となっております。個人情報保護法も平成 17 年 4 月 1 日より施行され、個人情報を含む機密情報の保護は急務となっております。従来、機密書類の処理は焼却やシュレッダーによる裁断といった方法に頼っておりました。しかし、環境問題が重要視されている現在、それには以下のような問題がございます。

## 焼却の問題

- ①焼却自体が法律等の規制によって難しくなっていること。
- ②ダイオキシン等の環境汚染物質発生の可能性があること。
- ③森林資源の破壊につながること。

## 裁断（シュレッダー）の問題点

- ①紙の繊維を細かく裁断してしまい、リサイクルが難しくなること。
- ②大量の書類の場合、大変な時間や手間がかかること。

当社ではこういった問題点を避けるために溶解処理のシステムを導入しております。溶解処理をすることにより、印刷されている機密情報をも溶かしてしまい判別が不可能になることはもちろん、紙の繊維を破壊せずに分離させることにより、以後のリサイクルが容易であるという利点がございます。当社では製紙会社と提携し、溶解処理後の書類をトイレットペーパーなどにリサイクルしております。

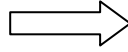
環境に配慮する一方、もちろん機密保持も重要視し、さまざまな自治体、公共機関、また金融機関や保険会社などの機密保持を重要視する各種企業様などより信頼を頂戴しております。

また、当社では各事業所様より排出された機密書類やミックス紙などから再生されたトイレットペーパー・ティッシュペーパーを販売しております。再生された製品を使用することにより、真のリサイクルにつながりますので、ご利用をお勧め致します。

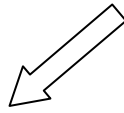
# 機密書類処理の流れ



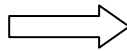
①機密書類溶解処理機（ハルパー）



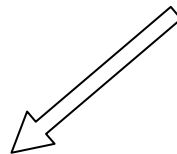
②書類を入れ水流とスクリーにより溶解します



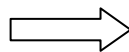
③溶解した書類を脱水します



④溶解後は情報が読み取れません



⑤提携先の製紙会社にて再生されます



⑥トイレットペーパーやティッシュペーパーなどに生まれ変わります